

# 春季野球大会

—古川マイッターズ2年ぶり制覇—

# 旗の重みずっしり



優勝のよろこびをかみしめるナイン



優勝 古川マイッターズ



準優勝 長倉ラビッツ

5月14日に開幕した春季野球大会は、7月2日に決勝戦を迎えました。トーナメント方式によって勝ち進んだのは、古川・長倉の両チーム。

この試合では、守備・攻撃ともにリズムをつかんだ古川チームが、長倉チームの追撃を振り切って、2年ぶりの優勝となりました。

この大会で、スポーツのとりもつ地域の輪が、一層大きくなったことでしょう。お疲れさまでした。

### 大会結果

- 優勝 古川マイッターズ
- 準優勝 長倉ラビッツ
- 第3位 屋形サニーズ
- 第3位 南部1チーム

## 文芸

### 俳句

- 絹日傘コロンかおらの響ほのと曳き 宇井 芝童
- 夜店にて数珠買うことをためらいぬ 海保 きみ
- 川面吹く風切返す夏燕 勝又やすのり
- (故奥山萌古氏を弔す) 鈴木 草庵
- 句友逝くや路傍にしぶく夏の雨 鈴木 南知
- 信号待ちする人なかに日傘揺れ 鈴木 南知
- 十字碑は鉄鎖の中に濃紫あけしき陽花 戸村 静華
- 生枝に電球ぶらり夜店かな 行方はじめ
- 砂日傘風紋日々にあたらなる 成田栄三郎
- 母の手を解いてかけ出す夜店の灯 藤代 ゆう
- 朴葉みそ焼く香ただよう梅雨の宿 (選者) 土屋 栗水

### 短歌

- 祓はらふがに五色の旗は風に舞ひ亡き兄の家の上棟の式 秋葉 とく
- 夜の明けをジョギングすれば田の面に蛙鳴く声千ともきこゆ 池田 春江
- 色あせし揃いの帽子の六地藏サイズ大きく眼をかくす 宇井 ちい
- 労はたらひのことばはなくもエレベーターまで車椅子の夫見送りくるる 大場 和可
- まむかひの杉の若木は吹く風に押されもどされマゲーム見す 掛川 友代
- 潮のひき砂濡れぬれて渚ゆく吾の素足のあと残しつつ 向後 泰治
- 一日の予定なきまま食膳に向ふあしたの味気なきかな 斉藤 秀男
- 小さき鳥巢籠るがみゆ泡立草の休耕田をうづむる中に 斉藤 要
- でで虫の豆粒ほどを掌てのひらに乗せて息ひそめつつ子は帰りきぬ 斉藤 佳子
- 震災と戦下の炎ぐりしか欠けてしづもる左千夫のみ墓 (選者) 斎藤つね子

